

香取市学校等適正配置計画実施プラン

第二次改定版

(案)

令和4年 月

香取市教育委員会

目 次

1	香取市学校等適正配置計画実施プランの見直しについて	1
	(1) 香取市学校等適正配置計画実施プランの位置づけ	1
	(2) 学校教育の目指すべき方向性	2
	(3) これまでの取組み	2
	(4) 新たに見えてきた課題	3
2	香取市の小中学校の現状について	6
	(1) 児童生徒数の推移	6
	(2) 学校施設の状況	6
3	香取市の学校等適正配置の基本指針	7
4	実施プラン推進に向けた基本課題	8
5	香取市における学校の適正規模と適正配置	9
6	適正規模及び小規模校の下限とメリット、デメリット	10
	(1) 適正規模	10
	(2) 許容できる小規模校の下限	10
	(3) 学校規模によるメリット・デメリット	12
7	香取市の学校再編の基準と考え方	14
	(1) 許容規模に基づく学校再編	14
	(2) 小中連携教育の推進	15
	(3) 既存の学校施設の有効利用	15
	(4) 統合に伴う通学方法について	15
8	市民協働による学校再編の推進	15
	(1) 「地域検討会議」「代表者会議」「準備委員会」の設置	15
	(2) 調整区域の設置	16
9	将来的な学校配置の想定について	17
	(1) 令和27年における児童生徒数の推計	17
	(2) 令和27年における各校の児童生徒数と学校配置想定	18

10 再編計画案について	20
【佐原・栗源地区】	21
【小見川・山田地区】	26

1 1 学校再編の計画期間と推進方針	29
---------------------------	-----------

資料編

○統計等資料

1. 香取市の将来人口の推移	1
2. 実施プラン第一次改定版策定時（平成26年度）の児童数の推移と 現在（令和3年度）の推移	1
3. 実施プラン第一次改定版策定時（平成26年度）の生徒数の推移と 現在（令和3年度）の推移	1
4. 令和3年度 小学校児童数・学級数と将来推計	2
5. 令和3年度 中学校生徒数・学級数と将来推計	2
6. 小中学校児童生徒数推移（各年4月1日現在）	4
○学校施設の状況	5

1 香取市学校等適正配置計画実施プランの見直しについて

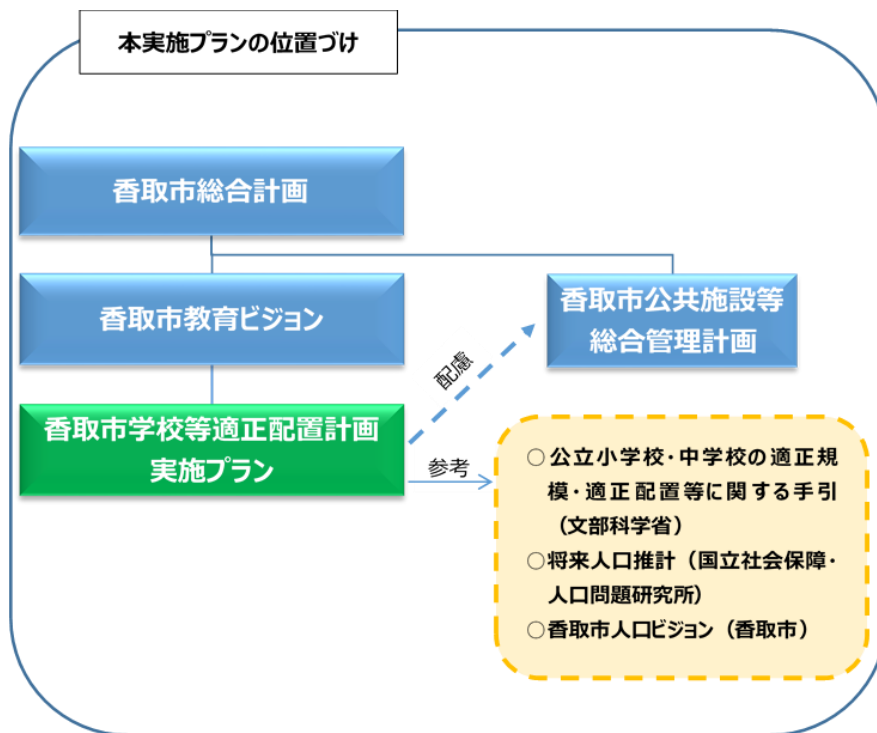
(1) 香取市学校等適正配置計画実施プランの位置づけ

香取市では、第2次香取市総合計画（平成30～令和9年度）を策定し、「豊かな暮らしを育む 歴史文化・自然の郷 香取 ～人が輝き 人が集うまち～」を目指すべきまちの姿とし、その実現に向け6つの分野ごとに方向性を示しています。「教育・文化の振興」の分野では、「将来を担う子どもたちが、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むことができるよう、教育環境の是正や高度情報化社会に対応した学習環境の整備、家庭や地域の見守り体制を充実していく」としています。

教育委員会では、この基本目標の達成のため、令和2年2月に第2次香取市教育ビジョン（令和2～11年度）を策定し、香取市の教育の目指すべき方向性を示しています。そのなかでは、「教育施策推進のための環境整備」を施策大綱の1つとして掲げており、子どもたちの質の高い学びの実現と豊かな育ちを支えるため、時代の変化に対応できる長期的視点を持った施設・設備等の計画的な整備を図ることとされています。

これを受け、義務教育の充実（教育水準の維持向上）、教育環境の公平性（教育の機会均等）を目指すため「香取市学校等適正配置計画実施プラン」（以下「実施プラン」）を策定し、その実現に向けて市民協働で検討協議し、推進しております。

また、香取市では長期的な視点を持って効果的・効率的に公共施設を整備・管理運営していくことが必要との考えから、公共施設の総合的かつ計画的な管理を行う為、平成27年度に香取市公共施設等総合管理計画（平成28～令和27年度）を策定しています。小・中学校等の教育系施設は、香取市の公共施設全体のうち4割以上（延床面積換算）と大きな比率を占めており、その多くが大規模改修等による施設の更新を控えている状況にあります。このことから、本実施プランのなかでも長期的な視点での小・中学校の配置計画を示す必要があると考え、10年間の再編計画とは別に、香取市公共施設等総合管理計画の期限である令和27年における香取市の年少人口を推計し、その人数下における適正な学校配置の想定を行います。



(2) 学校教育の目指すべき方向性

小学校では令和2年度より、中学校では令和3年度より実施されている、新学習指導要領では、主体的・対話的な深い学びの重視や、プログラミング教育の導入・外国語教育の充実・道徳の教科化（考え議論する道徳）などが大きな特徴となっています。これらは、グローバル化や価値観の多様化によってこれまでの常識が大きく変化しつつある現代において、子どもたちがこうした変化に対応し、社会を生き抜く力を身につけることを目的としています。

また、令和3年1月の中央教育審議会の答申では、一人ひとりの児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる必要があるとし、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現により、「令和の日本型学校教育」の構築を目指すこととしています。

(3) これまでの取組み

実施プランでは、市民協働による学校再編の推進が定義されています。学校は、「家庭・地域・学校」の相互の連携協力のもとに運営されています。学校は子どもたちの学び舎としての役割だけでなく、地域のシンボリックな役割も担っており、地域コミュニティの核となっているケースが多くあります。このことから、学校再編を市民協働で推進するため、保護者の代表者、地域住民の代表者、学校教育関係者で組織する地域検討会議等を設置し、公・民が一体となり実施プランの実現に向け検討協議を行っています。

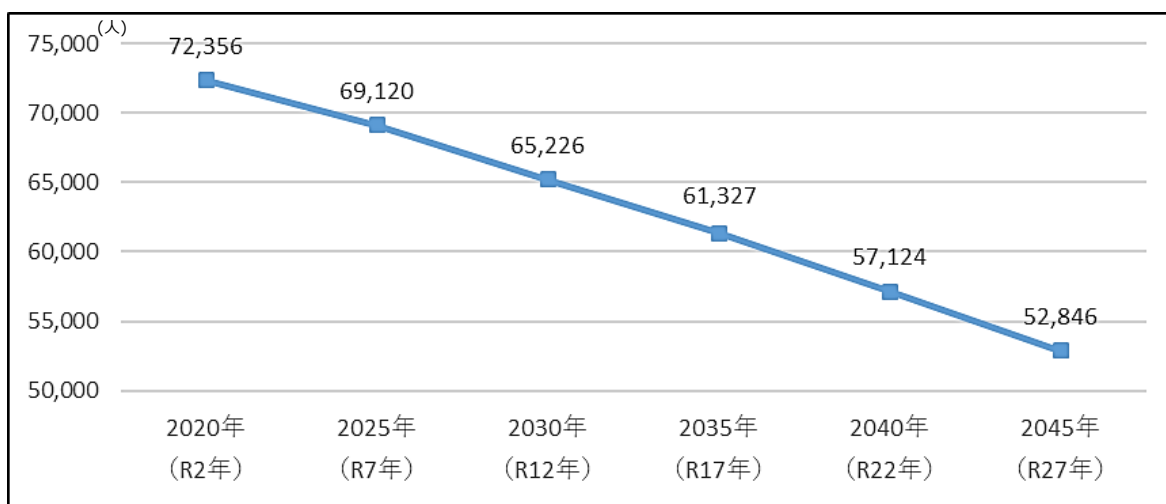
平成22年に当初実施プランが策定されてから令和3年度末までに、8件の統合が実施され、学校の数は小学校25校・中学校8校から、小学校15校・中学校7校となっています。

(4) 新たに見えてきた課題

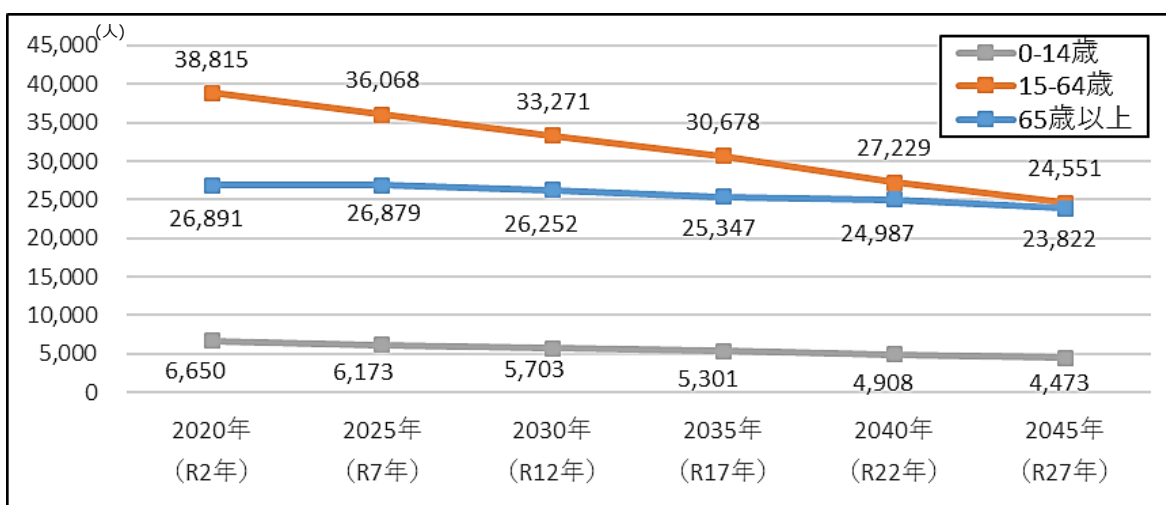
香取市の人口は、令和2年の国勢調査結果では、72,356人でした。「香取市人口ビジョン（令和2年改訂版）」では、令和7年度には69,120人（令和2年国勢調査人口比、▲4.5%）と7万人を割り、その後も減少を続け、令和12年度には65,226人（同、▲9.9%）、令和17年度には61,327人（同、▲27.0%）となることが予測されています。

年齢構成の区分で見ると、令和2年度の年少人口（15歳未満）は、6,650人ですが、令和17年度には4,473人となり2,177人（令和2年比、▲32.7%）減少することが予測されています。

香取市の将来人口推計



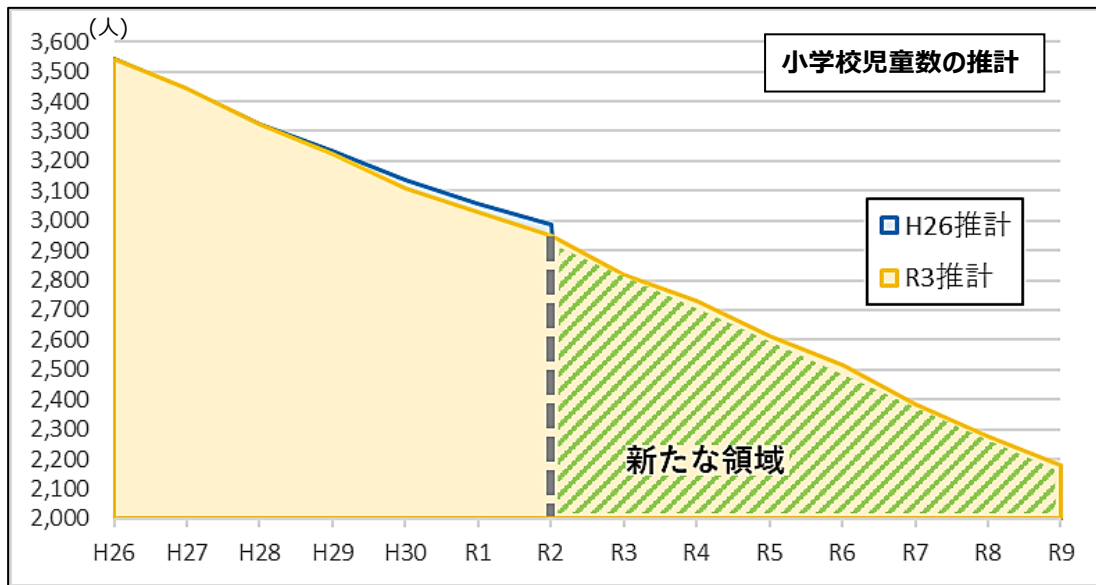
年齢構成3区分の人口推移



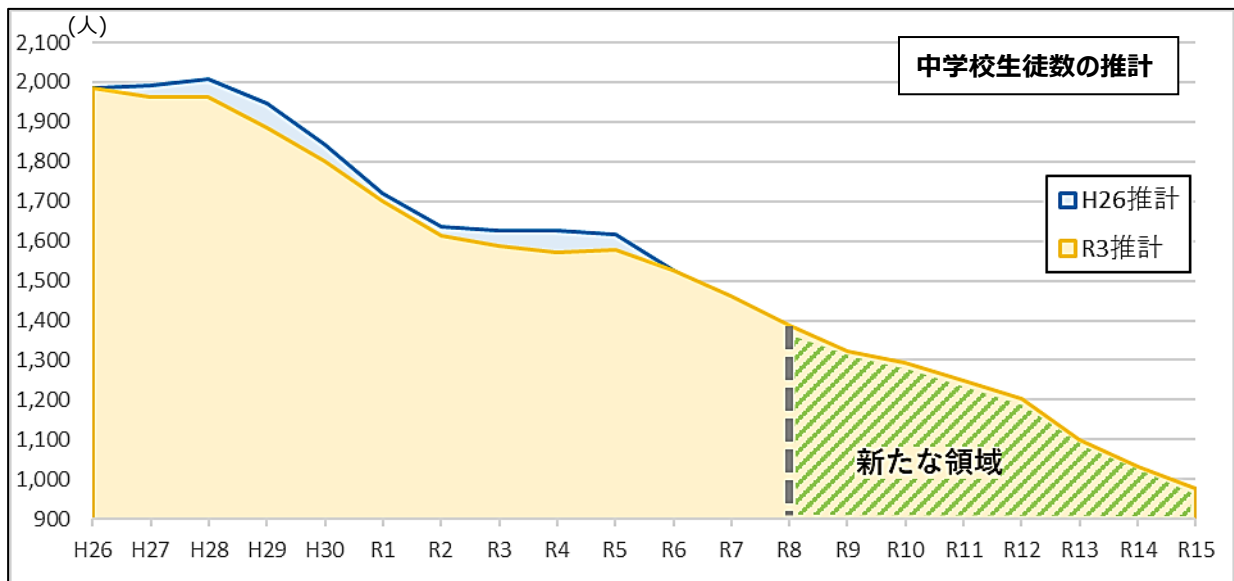
実施プラン第1次改定版では、平成25年4月2日から平成26年4月1日までの出生数(平成26年5月1日現在の住民基本台帳人口)を調査し、その子が小学校に入学する「令和2年度」までの児童数、また中学校に入学する「令和8年度」までの生徒数の実数推計を行いました。

第1次改定版を策定してから6年が経過し、直近の出生数(令和2年4月2日から令和3年4月1日まで)を基に推計をすることで児童数は「令和9年度」まで、生徒数は「令和15年度」までの実数推計ができます。

実施プラン策定時の児童生徒数の推計と今後の推計



※R3 推計の H26 から R3 までの値は推計値ではなく実数値



※R3 推計の H26 から R3 までの値は推計値ではなく実数値

実数推計でも、児童数は減少の一途をたどり、また生徒数も同様な傾向にあります。

今後も児童生徒数は減少し、小学校では複式学級^{※1}の対象となる学年が生じ、中学校ではクラス替えのできない学校が増えてきます。

学校は、一定規模の集団で活動することをおして、子どもたちに「確かな学力（知育）」「豊かな心（徳育）」「健やかな体（体育）」の生きる力をバランス良く育み、変化の激しい社会を生き抜く力を身につけさせることが重要です。しかし、引き続き少子化の影響により、一定規模を確保できない学校が年々増えています。このため、学校規模による教育環境の不均衡や地域格差等を是正し、市内どこでも同じ教育環境の下に、子どもたちが教育を受けられるようにすることが必要です。

教育委員会では、これまで実施プランに基づき学校再編を進めてきましたが、プランどおりに再編へと繋がったケースもあれば、再編の必要性については合意を得られながらも、再編先や再編時期などの点で合意を得られず、プラン通りに進められなかったケースもありました。これに伴い、再編案の修正が必要となり、また今後も引き続き少子化に対応できるよう、実施プランを見直し、第二次改定版を策定しました。

複式学級^{※1}……公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律第3条

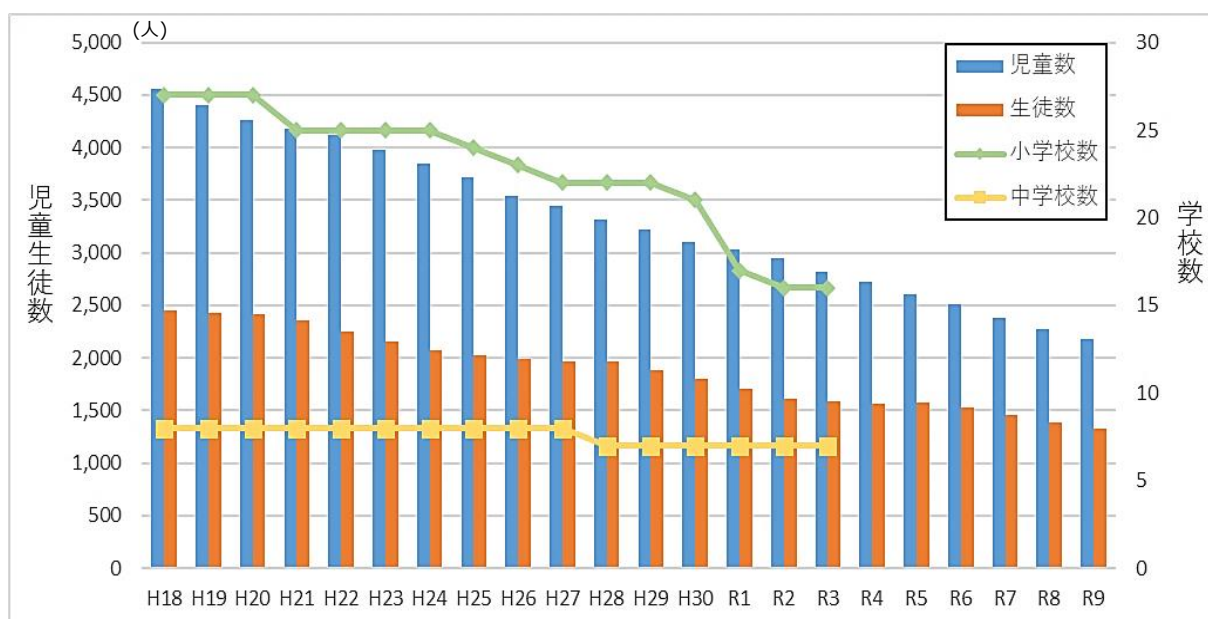
2 香取市の小中学校の現状について

(1) 児童生徒数の推移

香取市内の令和3年4月1日現在の小中学校数は、小学校16校、中学校7校です。令和3年度当初の児童数は、2,817人で、生徒数は、1,587人です。今後の児童生徒数の推移を、令和2年4月2日から令和3年4月1日までの出生数をもとに推計すると、令和9年度には児童数は、2,180人に、生徒数は、1,324人になると予測できます。

令和3年度と比較すると、令和9年度には児童数が637人（▲22.6%）減少、生徒数が263人（▲16.6%）減少することになります。

児童生徒数及び学校数の推移



(2) 学校施設の状況

学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす施設であり、また、災害時の避難場所にもなります。香取市では、施設の面における教育環境の充実を図るため、これまで「普通教室・特別教室への空調設備設置工事」や「トイレ洋式化工事」等を実施してきました。令和3年度からは「体育館の照明改修工事」を順次実施しています。

また、香取市内の学校施設は耐震補強工事の実施により耐震化率100%となっておりますが、昭和50年代に建築された建物が多く、今後更新時期を迎えます。施設の老朽具合等を個別に判断し、計画的に長寿命化改修工事を行っていきます。

3 香取市の学校等適正配置の基本指針

小中学校の適正配置を行うための基本的な考え方として、次の3つの基本指針を掲げ、市民協働で学校再編を推進します。

義務教育の充実（教育水準の維持向上）

香取市における施設整備、教材教具、教育指導など、児童生徒の教育環境を整備し、義務教育の充実を図る観点から、学校規模の適正化を進めていく必要があります。

教育環境の公平性の確保（教育の機会均等）

学校規模の適正化及びそれを実現する学校配置は、学校規模による教育環境の不均衡や地域格差等の是正、義務教育の機会均等の観点からも検討が必要です。

学校運営の効率化と教育資源の有効活用

学校規模の適正化は、学校運営の効率性の向上や教育資源の再配分による有効活用の観点から検討が必要です。

4 実施プラン推進に向けた基本課題

① 学校の規模だけではなく「適正配置」からの検討の必要性

香取市の土地利用状況に鑑み、通学距離、小中学校の配置バランス、地域と通学区域との整合など、学校の規模だけではなく、地理的環境を視野に入れた学校の適正配置について重視する必要があります。

② 交流と連携の促進

（「小中連携教育」、「小中一貫教育^{※2}」、「学校・家庭・地域社会の連携」）

香取市の広大な面積から考え地域性、歴史性を尊重するとともに、集落の形成や地域コミュニティが積年の過程で醸成されていることを踏まえ、学校の適正配置には、「小中連携教育」更には「小中一貫教育」を視野に入れた「小・中学校間の交流連携の促進」、「学校・家庭・地域社会の連携」を図り、地域との一体感の醸成を考慮した「地域に根ざした学校づくり」を目指す必要があります。

③ 将来を見据えた学校の適正配置

将来の人口推移や土地利用を踏まえ、広域的な視点を持ち、効率的かつ効果的に学校の適正配置を進める必要があります。

④ 安全かつ機能的な通学区域の弾力化

香取市の面積が広域であることや、児童生徒の安全・安心を確保するため、「学校の規模」、「通学時間・通学距離」、「通学の安全」、「地域コミュニティとの関係」を考慮した、通学区域の更なる弾力化や通学手段（スクールバス等）の検討が必要です。

小中一貫教育^{※2}……小中一貫教育とは、学校経営方針や教育目標、目指す子ども像を小学校と中学校が一元化し、義務教育の9年間を児童生徒の発達段階に即して、小中一貫カリキュラムに基づく系統的、継続的な学習指導や生徒指導を行う教育。

5 香取市における学校の適正規模と適正配置

学校再編は、適正規模と適正配置の両面から検討し、推進することが必要です。国の適正規模^{※3}は、学校の規模を12～18学級が標準としています。適正配置^{※4}では、通学距離について小学校で概ね4キロメートル以内、中学校で概ね6キロメートル以内であることが適正としています。

香取市は、平成18年3月に市町村合併し、市域面積は262.35 km²で県内4番目の広さを有しています。学校は、旧市町村単位で建設されました。児童生徒数は、学校建設当時と比較して大きく減少しています。また、学区内の結びつきは強く、学校再編を考えるうえでは地域コミュニティにも配慮する必要があります。

学校再編は、学校の小規模化を解消し、児童生徒の教育環境をよりよいものにするを目的に行います。このためには、一定規模の児童生徒のなかで、互いに学びあい、競いあい、助けあいのできる環境づくりが必要です。従って、実施プランでは適正規模を優先し、学校再編を進めます。

しかしながら、適正規模を優先し、学校再編を進めることで児童生徒の通学距離が延伸します。この場合、国の適正配置基準を一つの判断基準とし、通学に要する時間も考慮し、公共交通機関等を含め通学手段について検討します。

また、適正配置を考えるうえでは、小学校と中学校の連携も重要なことです。小中連携教育は、学習内容や生活リズムに馴染めず、いじめや不登校が増える全国的な現象（中1ギャップ）の解消に効果があると言われていています。9年間の学びをより充実させるためにも、小中学校間の連携を強化するため、中学校を核とした再編を推進します。

適正規模^{※3}・・・学校教育法施行規則第41条及び第79条による標準規模

適正配置^{※4}・・・義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第4条

6 適正規模及び小規模校の下限とメリット、デメリット

(1) 適正規模

【小学校】

国が、適正としている学校規模は、1 学年 1 学級の単学級の解消を図り、クラス替えが可能な 1 学年 2 ～ 3 学級です。

学級編制の標準に関して、令和 3 年の法改正^{※5}により、現行の 40 人（小学校 1 年生は 35 人）から 35 人に段階的に引き下げられることが決まりました。学級数は、その標準を基に決定されます。36 人なら 2 学級、71 人なら 3 学級となります。

千葉県では、少人数学級を推進しており、国の基準を弾力的に運用し、1 年生から 3 年生は 35 人学級、4 年生以降は 38 人学級を基準にしています。（令和 3 年度の基準）

香取市では、豊かな人間性を育て多様な人間形成を図りやすくするため、適正規模を「各学年でクラス替えが可能な規模」と、捉えています。

【中学校】

中学校は、教科担任制であり、各教科に専門の教員を確保することが必要となります。授業時数の多い 5 教科（国、社、数、理、英）については、複数の教員の配置が望ましく、生徒指導・部活動への対応や教員の研修の充実を図るためにも、一定の教員数が必要であるとされています。

国が、適正としている学校規模は、1 学年 4 ～ 6 学級で、1 学級の生徒数の標準^{※6}を 40 人としています。

千葉県では、1 年生は 35 人学級、2 年生以降は 36 人学級を基準にしています。

香取市では、適正規模を国と同じく「1 学年 4 ～ 6 学級」と、捉えています。

(2) 許容できる小規模校の下限

本市においては、単学級であっても、各学校の努力や創意工夫により、教育水準を維持しながら学校運営がなされておりますが、今後も児童生徒数の減少が見込まれることなどを考慮して、許容できる小規模校の下限の考え方を次のようにします。

令和 3 年法改正による学級編制の段階的な引き下げ^{※5}……令和 3 年度は 1 ～ 2 年生で、令和 4 年度は 1 ～ 3 年生で、令和 5 年度は 1 ～ 4 年生で、令和 6 年度は 1 ～ 5 年生で、令和 7 年度以降は全学年で、学級編制の標準が 35 人となる。

生徒数の標準^{※6}……公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律第 3 条

【小学校】

小学校では、1 学年 1 学級で適切な数の集団を編制できる学級規模が維持されるならば、少人数学級としての利点を生かし、教育環境のマイナス面を小さくすることは考えられます。しかし、様々な教育活動を考えた場合、少なくとも 1 学級に 20 人程度（4 人×5 グループ）の児童数が望ましいと考えます。

よって、小学校の許容できる小規模校の下限は、各学年 1 学級の 6 学級で、児童数は 120 人を超える程度とします。（各学年 1 学級×6 学年×1 学級 20 人程度≒120 人を超える程度）

【中学校】

中学生においては、この時期は大人になる過渡期にあたり、たくさんの人々と接し、仲間と切磋琢磨しながら、多くの体験を通して成長する場が必要です。そのため、生徒の自立を促進し、たくましく生きる力を育成する上では、集団の固定化はできるだけ避けなければなりません。また、専門教科が担当できる教職員数の確保を考え、中学校の許容できる小規模校の下限は、クラス替えができる各学年 2 学級の 6 学級以上とします。

国・県の 1 学級の適正規模

小学校の場合

区分	1 学級の児童数					
	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年
国	35 人以下		40 人以下 (R4 年より 35 人以下)	40 人以下 (R5 年より 35 人以下)	40 人以下 (R6 年より 35 人以下)	40 人以下 (R7 年より 35 人以下)
千葉県	35 人以下		38 人以下(R3 年時点)			

中学校の場合

区分	1 学級の児童数		
	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
国	40 人以下		
千葉県	35 人以下	38 人以下	

香取市の小規模校の下限

小学校	1 学年の児童数は 20 人程度 学校規模は 120 人を超える程度
-----	---------------------------------------

中学校	学校規模は各学年 2 学級以上
-----	-----------------

国と香取市の小中学校の適正規模の考え方

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模
			適正規模		
小学校(学級数)	1～5	6～11	12～18	19～24	25～30
中学校(学級数)	1～2	3～11	同上	同上	同上
香取市の規模の考え方		下限規模 ※中学校の下限規模は、6学級	適正規模	上限規模	

(3) 学校規模によるメリット・デメリット

学校教育を行う上での学校規模は学習面、生活面と教育指導面などに様々なメリット、デメリットが生じます。

小規模校の場合、児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導ができるというメリットが挙げられますが、これらのメリットは小規模校でなければ達成できないというわけではなく、一定規模の学校においても習熟度別指導や少人数指導により可能となります。

また一方で、様々な集団の編成や多様な学習活動の展開が困難となる場合が発生し、集団の中で切磋琢磨する機会が少なくなるというデメリットもあります。

大規模校の場合、多くの友だちや教師にめぐり合え、人間関係が豊かになることや活気ある学校経営が行えるなどのメリットが挙げられますが、一方で、児童生徒の増加に伴い、少人数指導を行う際の教室の確保や体育館、校庭などの施設面に余裕がなくなり、教育活動に制約を生じるデメリットがあります。

これらのことから学校を一定の規模とすることにより、子どもたちの教育効果をより高められるものと考えます。

香取市の現状では、義務教育における教育の機会均等、教育水準の維持・向上を図る上では、過小規模校・小規模校の課題を解消していくことが必要となります。

	小規模化		大規模化	
	メリット	デメリット	メリット	デメリット
学習面	○児童・生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	○集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。 ○1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。	○集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばしやすい。	○全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
	○学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。	○運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。 ○中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。 ○児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りにくい。	○運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい。 ○中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しやすい。 ○児童・生徒数、教職員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りやすい。	○学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しにくい。
		○部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。	○様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい。	
生活面	○児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。 ○異学年間の縦の交流が生まれやすい。	○クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。 ○集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。 ○切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。	○クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい。 ○切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい。	○学年内・異学年間の交流が図りにくい。
	○児童・生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	○組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。	○学校全体での組織的な指導体制を組みやすい。	○全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
学校運営面・財政面	○全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 ○学校が一体となって活動しやすい。	○教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい。 ○学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・切磋琢磨等が行いにくい。 ○一人に複数の校務分掌が集中しやすい。 ○教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。	○教員数がある程度多いため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置を行いやすい。 ○学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・切磋琢磨等が行いやすい。 ○校務分掌を組織的に行いやすい。 ○出張、研修等に参加しやすい。	○教職員相互の連絡調整が図りにくい。
	○施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。	○子ども一人ひとりにかかる経費が大きくなりやすい。	○子ども一人ひとりにかかる経費が小さくなりやすい。	○特別教室や体育館等の施設・設備の利用の面から、学校活動に一定の制約が生じる場合がある。
その他	○保護者や地域社会と連携が図りやすい。	○P T A 活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。	○P T A 活動等において、役割分担により、保護者の負担を分散しやすい。	○保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。

出典：中央教育審議会初等中等教育分科会

小中学校の設置・運営の在り方等に関する作業部会資料

7 香取市の学校再編の基準と考え方

(1) 許容規模に基づく学校再編

【小学校】

① 複式学級の解消

複式学級とは、引き続き二つの学年の児童数が16人以下（1年生を含む場合は、8人以下）となると、二つの学年で一人の教員の配置になります。複式学級となる場合、教育上の課題は大きいとされています。

このため、複式学級が常態的に発生するような状況が見込まれる場合は、その解消のため、再編統合を検討します。

② 許容規模の確保

香取市では許容できる小規模校の下限を児童数が120人を超える程度としています。児童数の動向を注視し、許容規模の確保が継続的に困難と見込まれる場合は、再編統合を検討します。

【中学校】

③ 複式学級の解消

中学校の複式学級は、引き続き二つの学年の生徒数が8人以下となると、複式学級となります。

複式学級の発生が見込まれる場合は、その解消のため、再編統合を検討します。

④ 許容規模の確保

香取市では許容できる小規模校の下限を学級数が6学級以上としています。

生徒数の動向を注視し、単学級化が進み許容規模の確保が継続的に困難と見込まれる場合は、再編統合を検討します。

上記に該当する学校については学校再編を推進しますが、許容規模を下回ったばかりの学校においては、当事者（保護者や地域住民）が小規模化の現状に不自由を感じていないケースが多く、合意形成がスムーズに進まないことがあります。

学校再編の推進については、過去の検討経緯や地域ごとの実情も考慮し、特に「小学校の複式学級の解消」と「中学校の単学級化の解消」を優先して取り組みます。

(2) 小中連携教育の推進

今日、学習意欲の低下や生活・学習習慣の未定着、社会体験・自然体験の不足、不登校など様々な教育上の問題が指摘されており、香取市の児童生徒も例外ではありません。

このような問題の解決には、義務教育 9 か年においてできるだけ早期からの規則正しい生活習慣や自主的に学習する習慣の確立、より長いスパンでの児童生徒理解に基づく個に応じた指導の一層の充実、中 1 ギャップの解消、交流活動の充実等、小中学校の連携による取組の推進が急務です。

また、連携を推進、強化していくことから、小中一貫教育の導入については、国の動向に着目し慎重に検討していきます。

- ① 中学校区ごとに、円滑な小中学校の接続や日常の連携等、小中連携教育のあり方を探り、義務教育 9 か年を見据えた教育課程の立案や授業改善、交流活動の推進等に取組みます。
- ② 小学校から同じ中学校へ進学できるように、段階的に再編していきます。

(3) 既存の学校施設の有効利用

効率的な学校再編を実施するため、改修・増築等により既存学校施設を統合校として有効利用します。

ただし、統合後の規模や立地状況により、新設を検討する場合があります。

(4) 統合に伴う通学方法について

国の適正配置では、通学距離を小学校にあつては概ね 4 キロメートル以内、中学校にあつては概ね 6 キロメートル以内としています。これを一つの判断基準とし、また通学に要する時間も考慮し、統合に伴い遠距離通学となる場合は、公共交通等の利用を含め、スクールバス等の通学手段を検討します。

8 市民協働による学校再編の推進

(1) 「地域検討会議」「代表者会議」「準備委員会」の設置

香取市では、学校、家庭、地域の相互の連携協力による学校教育を推進しています。学校再編についても、地域、保護者、学校が連携し、「地域に根ざした学校づくり」を目指すため、地域、保護者、学校等の代表者で構成する組織を設置し、公・民が一体となり市民協働で検討し、円滑に推進します。

① 地域検討会議

学校区単位の保護者の代表者・地域の代表者・学校教育関係者で組織し、学校再編について検討協議を行い、地域の意向をまとめます。

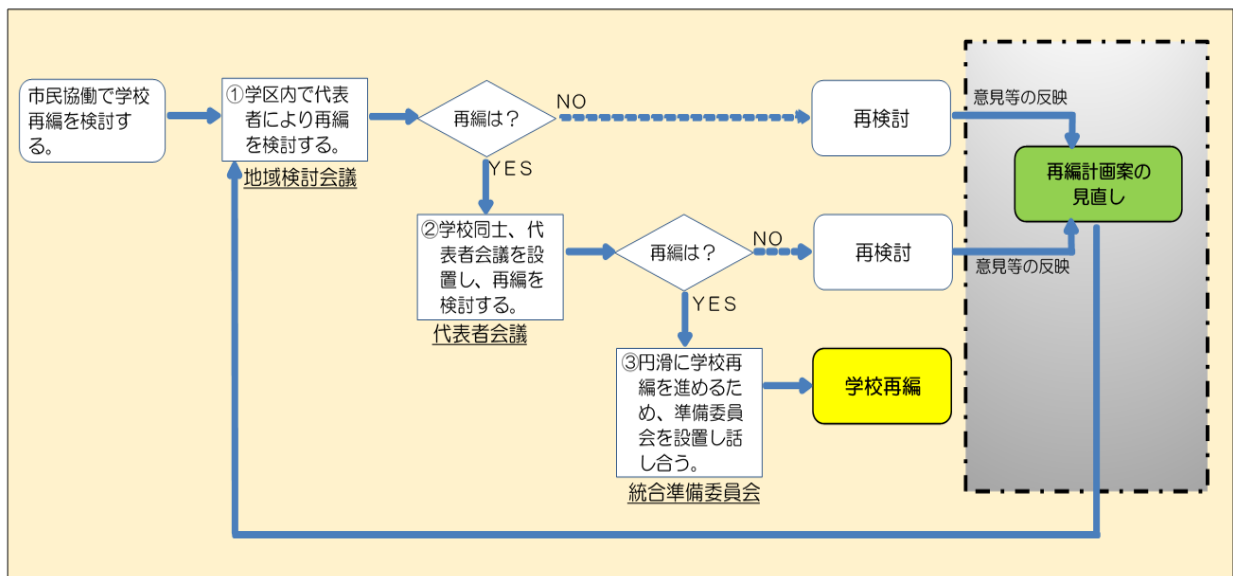
② 代表者会議

地域検討会議で学校再編の合意形成が得られた場合、統合する学校の代表者で、「統合の時期」「学校の名称」「校歌・校章」「スケジュール等」の『基本的事項』について協議を行い決定します。ただし、既存の学校に編入となる統合の場合は、検討事項がないため、代表者会議の設置は行いません。

③ 準備委員会

代表者会議で決定された『基本的事項』に基づき、準備委員会を設け、具体的な「通学方法」「学校用品（体操服、ジャージ等）」「PTA組織」「記念式典」などの再編にかかる必要分野ごとの部会により、円滑な学校再編に向けた話し合いを行います。

市民協働による学校再編の進め方のイメージ図



(2) 調整区域の設置

地域コミュニティや児童生徒の通学の安全に配慮する必要がある区域については、地域の実情に即し、弾力的な通学区域の運用を行う調整区域の設置を検討します。

調整区域では保護者の希望で、特に就学校の希望理由を問われることなく、教育委員会への申出により、「指定校」※⁷以外にあらかじめ指定された「許可校」に就学を可能とします。

指定校※⁷…… 学校教育法施行令第5条第2項

9 将来的な学校配置の想定について

香取市では、人口減少や少子高齢化の進展により見込まれる社会保障経費の増加等を踏まえ、長期的な視点をもって効果的・効率的に公共施設を整備・管理運営していくことが必要との考えから、公共施設の総合的かつ計画的な管理を行う為、平成27年度に香取市公共施設等総合管理計画を策定しました。計画期間は平成28年から令和27年までの30年間としており、5年ごとに財政状況や制度変更等に合わせて適宜見直すこととしています。

教育委員会においても、学校等適正配置計画実施プランを策定し学校再編を推進しているところではありますが、同様の理由から市内小中学校の長期的な視点での適正配置計画を持つ必要性があると考え、令和27年における児童・生徒数の推計及びその人数における学校配置の想定を行います。

(1) 令和27年における児童生徒数の推計

香取市人口ビジョンによると、令和27年の人口は53,000人程まで落ち込むと見られています。この人口ビジョンは、5歳刻みの推計値の積み上げで出来ており、令和27年の(5-9歳)人口は1,496人、(10-14歳)人口は1,741人、(15-19歳)人口は1,618人となっています。

これらの数字を用いて、令和27年の小学校児童数(7-12歳)を下記のように算出しました。

$$(1,496 + 1,741) \div 10 \times 6 \div 100 = 1,942 \text{ 人}$$

〔(5-9歳)人口〕 〔(10-14歳)人口〕 〔1歳あたりの平均値を算出〕 〔(7-12歳)の6学年分〕 〔(7-12歳)を含む、10学年分の人口〕 〔令和27年における小学校児童数(7-12歳)の推計値〕

令和3年比 **68.9%**

同様にすると、令和27年の中学校生徒数(13-15歳)は下記のようになります。

$$(1,741 + 1,618) \div 10 \times 3 \div 100 = 1,008 \text{ 人}$$

〔(10-14歳)人口〕 〔(15-19歳)人口〕 〔1歳あたりの平均値を算出〕 〔(13-15歳)の3学年分〕 〔(13-15歳)を含む、10学年分の人口〕 〔令和27年における中学校生徒数(13-15歳)の推計値〕

令和3年比 **63.5%**

(2) 令和27年における各校の児童生徒数と将来的な学校配置の想定

前述のとおり、令和27年には令和3年の児童・生徒数と比較して、小学校で 68.9%、中学校で 63.5%まで減少すると推計されました。これらの比率を学校ごとに用いると下記のようになります。

(×0.689)

	学校名	令和3年児童数 (人) 【実数】	令和27年児童数 (人) 【推計値】	将来的な再編先
小学校	佐原小学校	710	489.2	佐原小学校
	北佐原小学校	63	43.4	
	東大戸小学校	119	82.0	
	竟成小学校	73	50.3	
	わらびが丘小	122	84.1	
	香取小学校	63	43.4	
	瑞穂小学校	113	77.9	
	新島小学校	103	71.0	
	水の郷小学校	82	56.5	
	栗源小学校	165	113.7	
	小見川中央小学校	486	334.9	小見川中央小学校
	小見川東小学校	85	58.6	
	小見川西小学校	159	109.6	
	小見川北小学校	150	103.4	
	山田小学校	324	223.2	山田小学校

(×0.635)

	学校名	令和3年生徒数 (人) 【実数】	令和27年生徒数 (人) 【推計値】	将来的な再編先
中学校	佐原中学校	550	349.3	佐原中学校
	香取中学校	82	52.1	
	佐原第五中学校	145	92.1	
	新島中学校	50	31.8	
	栗源中学校	62	39.4	
	小見川中学校	514	326.4	小見川中学校
	山田中学校	184	116.8	

※ は早急に学校再編を行う必要のある学校。

※ は許容規模を確保していない学校。

※ 水の郷小学校の令和3年児童数は津宮小学校と大倉小学校の合計値。

※ 山田中学校は令和27年度における生徒数の想定では許容規模を確保しているものの、後述の実数推計において、令和15年度より全学年単学級となる見通しであることから、将来的な再編先を小見川中学校としている。

この試算方法に基づくと、令和27年には市内のほとんどの小中学校が許容規模を下回り、学校再編の基準に該当します。またその場合の再編先候補としては、距離的な条件や施設の受入可能規模等から、前述のとおりとすることが望ましいと考えます。

この想定はあくまで現時点におけるものであり、今後の社会情勢の変化等によって変わってきます。令和27年における児童・生徒数の推計値については、香取市人口ビジョンの将来推計を参考に、各小中学校の児童生徒数が一律に推移していくと仮定して算出している為、後述の実数推計の値と逆転している箇所が存在するなど、数字自体は幅があると考えられます。再編先や再編時期についても、地域・保護者との合意形成を図りながら、公・民一体となり市民協働で学校再編を推し進めていくこととしているため、それぞれの学校の実情等を踏まえて変わってくる可能性があります。

ここで示したのは、令和27年という将来の状況をイメージしやすくするための想定であり、直近の具体的な再編計画については、次に示しています。

10 再編計画案について（計画期間 令和4年度から令和13年度まで）

市民協働で学校再編を進めてきましたが、引き続き少子化に対応するため、再編案の見直しが必要となりました。

このため、香取市の学校等適正配置の基本指針と香取市の学校再編の基準と考え方に基づき、再編計画案を次のとおりとします。

【再編計画案】

地区	区分	再編後の学校の位置	学校名	進学先 (連携を図る中学校)
佐原 栗源	小学校	佐原小	〈佐原小、北佐原小、竟成小〉	佐原中
		わらびが丘小	わらびが丘小 [※]	
		香取小	香取小 [※]	
		新島小	新島小 [※]	
		水の郷小	水の郷小 [※]	
		栗源小	栗源小	
		東大戸小	東大戸小 [※]	
	瑞穂小	瑞穂小 [※]	佐原第五中	
	中学校	佐原中	〈佐原中、香取中、新島中、栗源中〉	/
佐原第五中		佐原第五中		
小見川 山田	小学校	小見川中央小	〈小見川中央小、小見川東小〉	小見川中
		小見川西小	小見川西小	
		小見川北小	小見川北小	
		山田小	山田小	山田中
	中学校	小見川中	小見川中	/
		山田中	山田中	

〈 〉内は、再編する学校名

※の付いている学校は、児童数の推移を注視し、必要に応じて計画期間内の再編も行う。

【佐原・栗源地区】

小学校数 10校 ⇒ 8校 △2校

中学校数 5校 ⇒ 2校 △3校

《小学校》

① 北佐原小学校の再編

北佐原小学校の児童数は60人程度で推移しており、今後もこの状況が続く見込みです。将来にわたり再統合の懸念のない、「佐原小学校への統合」を視野に保護者・地域との検討協議を進めていきます。

② 竟成小学校の再編

竟成小学校は平成23年度の地域検討会議において、「現時点では、再編統合は時期尚早」との検討結果をまとめています。しかしながら、児童数は70人前後を減少傾向で推移しており、今後も増加は見込めないことから、将来にわたり再統合の懸念のない、「佐原小学校への統合」を視野に保護者・地域との検討協議を進めていきます。

なお、竟成小学区については指定の中学校が複数に分かれており、小中連携教育を推進するため、その解消についても併せて協議します。

③ わらびが丘小学校の再編

わらびが丘小学校は福田小学校と神南小学校が統合し令和2年に開校しました。児童数は許容規模の120人を下回っているものの、複式学級の発生が見込まれないことから直近での統合はしません。しかしながら、今後も児童数は減少傾向で推移していくと想定されることから、「将来的な佐原小学校への統合」を視野に入れながら、児童数の推移を注視しつつ、適宜、保護者・地域の意見を聞きながら検討していきます。

④ 香取小学校の再編

香取小学校は令和元年度の地域検討会議において、「統合が必要」との検討結果でまとめられていましたが、その翌年に行われた代表者会議では津宮小・大倉小との再編についての協議が整わず、統合に至りませんでした。複式学級が継続的に発生するような状況ではありませんが、今後も減少傾向で推移していくと想定されることから、「将来的な佐原小学校への統合」もしくは「段階的な水の郷小学校との統合」を視野に入れながら、児童数の推移を注視しつつ、適宜、保護者・地域の意見を聞きながら検討していきます。

⑤ 新島小学校の再編

新島小学校の児童数は許容規模の 120 人を下回っているものの、複式学級の発生が見込まれないことから直近での統合はしません。しかしながら、今後も児童数は減少傾向で推移していくと想定されることから、「将来的な佐原小学校への統合」を視野に入れながら、児童数の推移を注視しつつ、適宜、保護者・地域の意見を聞きながら検討していきます。

⑥ 水の郷小学校の再編

水の郷小学校は津宮小学校と大倉小学校が統合し令和 4 年に開校しました。児童数は許容規模の 120 人以下であるものの、複式学級の発生が見込まれないことから直近での統合はしません。しかしながら、今後も児童数は減少傾向で推移していくと想定されることから、「将来的な佐原小学校への統合」を視野に入れながら、児童数の推移を注視しつつ、適宜、保護者・地域の意見を聞きながら検討していきます。

⑦ 栗源小学校の再編

栗源小学校は許容規模の 120 人を上回っており、令和 9 年度から 120 人を下回る見込みですが、複式学級の発生が見込まれないことから直近での統合はしません。

⑧ 東大戸小学校、瑞穂小学校の再編

東大戸小学校、瑞穂小学校は実数推計可能な令和 9 年度まで一定の児童数を有し複式学級の発生が見込まれないことから直近での統合はしません。しかしながら、今後も児童数は減少傾向で推移していくと想定されることから、「将来的な佐原小学校への統合」もしくは「段階的な東大戸小・瑞穂小の 2 校での統合」を視野に入れながら、児童数の推移を注視しつつ、適宜、保護者・地域の意見を聞きながら検討していきます。

《中学校》

⑨ 香取中学校の再編

香取中学校は今後も生徒数は減少傾向で推移し、単学級化が進みます。将来にわたり再統合の懸念のない、近隣の「佐原中学校への統合」を視野に、保護者・地域との検討協議を進めていきます。

⑩ 新島中学校の再編

新島中学校は既に全学年が単学級化しており、今後もこの状況が続く見込みです。将来にわたり再統合の懸念のない、「佐原中学校への統合」を視野に、保護者・地域との検討協議を進めていきます。

⑪ 栗源中学校の再編

栗源中学校は既に全学年が単学級化しており、今後もこの状況が続く見込みです。将来にわたり再統合の懸念のない、「佐原中学校への統合」を視野に、保護者・地域との検討協議を進めていきます。

⑫ 佐原第五中学校の再編

佐原第五中学校は令和8年度まで全学年でクラス替えのできる規模（許容規模）で推移することから、直近での統合はしません。令和9年度から単学級となる学年が点在するようになり、以降も減少傾向で推移していくことから、今後も生徒数の動向を注視していきます。

○佐原・栗源地区の小学校児童数の推計

学校名	区分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
佐原小	児童数	710	694	673	658	626	577	552
	学級数	23	23	22	22	21	20	19
北佐原小	児童数	63	62	66	66	68	65	65
	学級数	6	5	6	6	6	6	6
竟成小	児童数	73	61	55	63	60	69	71
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
佐原小計 (統合後)	児童数	846	817	794	787	754	711	688
	学級数	26	24	24	24	24	23	23
わらびが丘小	児童数	122	116	108	100	92	87	74
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
香取小	児童数	63	62	67	71	63	56	59
	学級数	6	6	6	6	6	5	5
新島小	児童数	103	98	99	99	82	82	79
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
水の郷小	児童数		79	79	74	72	74	76
	学級数		6	6	6	6	6	6
栗源小	児童数	165	159	151	142	130	123	111
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
東大戸小	児童数	119	111	101	97	90	87	82
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
瑞穂小	児童数	113	106	104	92	95	98	92
	学級数	6	6	6	6	6	6	6

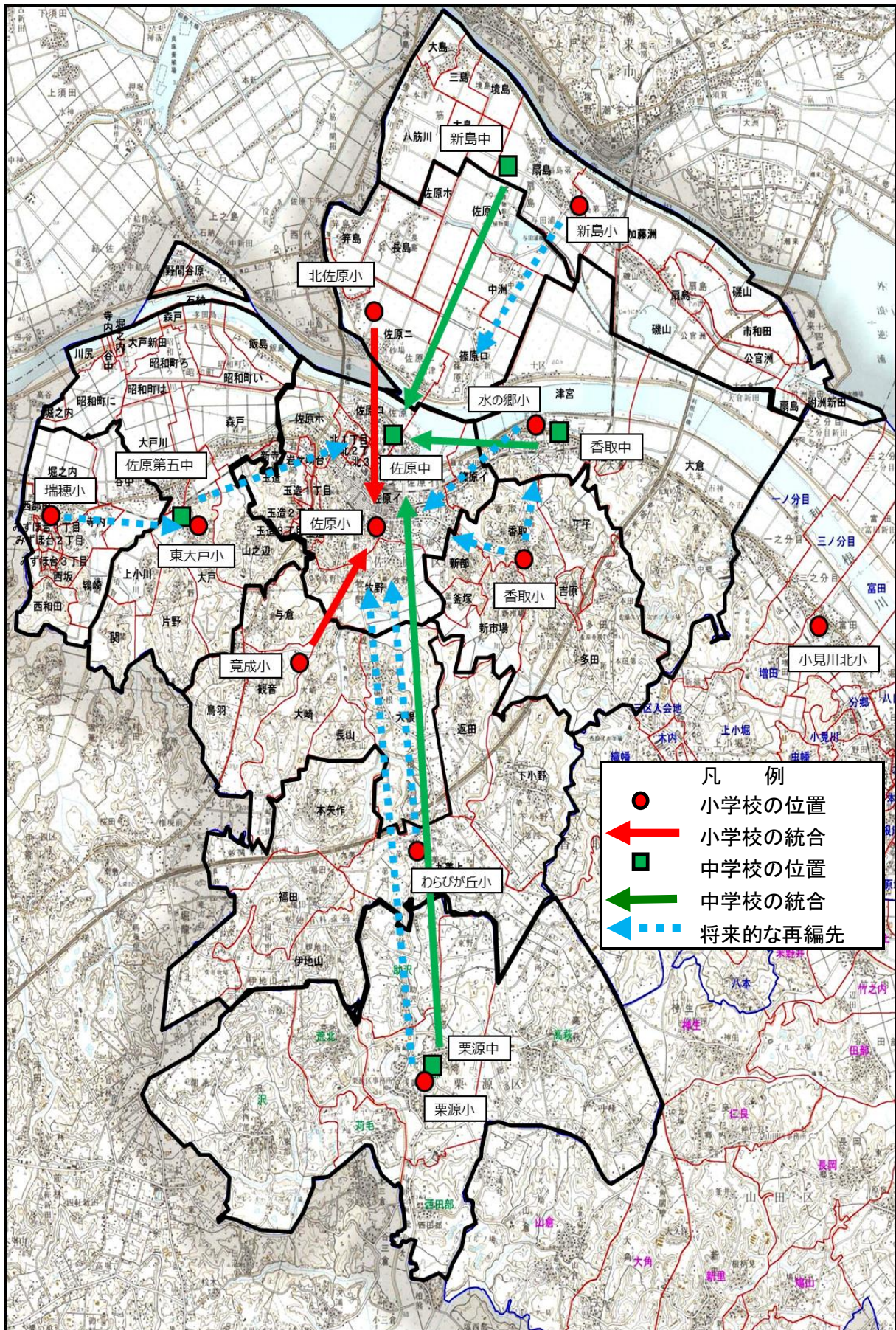
※ は、複式学級が含まれる年度の学級数

○佐原・栗源地区の中学校生徒数の推計

学校名	区分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
佐原中	生徒数	550	527	502	440	423	420	432	425	407	378	358	331	326
	学級数	16	16	16	13	13	13	13	12	12	12	11	10	11
香取中	生徒数	82	92	106	108	98	100	93	89	82	79	64	55	56
	学級数	3	4	4	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3
新島中	生徒数	50	57	58	57	62	55	50	46	55	59	45	35	30
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
栗源中	生徒数	62	64	71	86	84	87	74	68	59	63	57	62	48
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
佐原中計 (統合後)	生徒数	744	740	737	691	667	662	649	628	603	579	524	483	460
	学級数	21	21	21	20	19	20	19	18	18	18	16	15	14
佐原第五中	生徒数	145	152	159	167	155	133	127	115	118	110	113	115	112
	学級数	6	6	6	6	6	5	5	4	5	4	4	4	4

※ は、全学年が単学級となっている年度の学級数

○佐原・栗源地区再編案図



【小見川・山田地区】

小学校数 5校 ⇒ 4校 △1校

中学校数 2校 ⇒ 2校

《小学校》

① 小見川東小学校の再編

小見川東小学校は、複式学級は発生していないものの、児童が1人もいない学年が存在しており、令和5年度以降は70人以下の児童数で推移していきます。将来にわたり再統合の懸念のない、「小見川中央小学校への統合」を視野に、保護者・地域との検討協議を進めていきます。

② 小見川西小学校の再編

小見川西小学校は許容規模の120人を上回っており、令和7年度から120人を下回る見込みですが、複式学級の発生が見込まれないことから直近での統合はしません。

③ 小見川北小学校の再編

小見川北小学校は許容規模の120人を上回っており、令和7年度から120人を下回る見込みですが、複式学級の発生が見込まれないことから直近での統合はしません。

④ 山田小学校の再編

山田小学校は、実数推計の可能な令和9年度まで許容規模の確保が見込まれることから直近での統合はしません。

《中学校》

⑤ 山田中学校の再編

山田中学校は令和10年度まで許容規模を確保しているため、直近での統合はしません。しかしながら、令和15年度より全学年単学級となる見込みであり、今後も減少傾向で推移していくと想定されることから、「将来的な小見川中学校への統合」を視野に入れながら、生徒数の推移を注視しつつ、適宜、保護者・地域の意見を聞きながら検討していきます。

○小見川・山田地区の小学校児童数の推計

学校名	区分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
小見川中央小	児童数	486	486	471	465	450	420	410
	学級数	17	17	16	16	15	14	13
小見川東小	児童数	85	79	65	62	56	65	63
	学級数	5	5	5	5	5	6	6
小見川中央小計 (統合後)	児童数	571	565	536	527	506	485	473
	学級数	18	18	18	18	18	17	17
小見川西小	児童数	159	148	139	121	119	115	103
	学級数	6	6	6	6	6	6	6
小見川北小	児童数	150	146	134	132	117	112	118
	学級数	7	7	6	6	6	6	6
山田小	児童数	324	321	299	273	262	245	225
	学級数	12	12	11	11	10	9	8

※ は複式学級によるものではなく、児童が1人もいない学年が生じていることによる

○小見川・山田地区の中学校生徒数の推計

学校名	区分	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
小見川中	生徒数	514	491	507	487	471	422	394	389	390	388	354	322	306
	学級数	15	15	16	15	15	13	12	12	12	12	11	10	10
山田中	生徒数	184	187	176	181	168	169	154	160	137	126	109	111	99
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	3

※ は、全学年が単学級となっている年度の学級数

1 1 学校再編の計画期間と推進方針

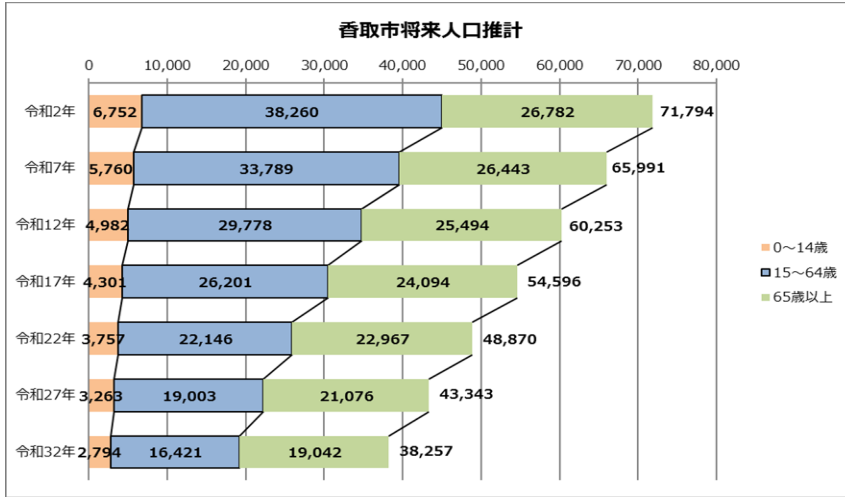
教育環境の格差を是正し、公平な教育環境を確保するためには全市的、かつ計画的に学校適正配置を進める必要があります。そのため、事業展開を前述の「8 市民協働による学校再編の推進」を踏まえ次のように設定し、順次適正配置に向けた取り組みを進めます。

- ① 実施プランの計画期間を令和13年度までとします。
- ② 小学校の複式学級と中学校の単学級化の解消を優先して取り組みますが、各地区の熟度も考慮し推進します。
- ③ 児童生徒数の推移を注視しつつ、必要に応じて再編案の見直しを行うなど、柔軟な対応で学校再編を進めます。

資料編

○統計等資料

1. 香取市の将来人口の推移



出典：国立社会保障・人口問題研究所
日本の市区町村別将来推計人口
平成30年推計

2. 実施プラン第一次改定版策定時(平成26年度)の児童数の推移と現在(令和3年度)の推移

(1) 小学校 平成26年度推計 (単位:人)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
佐原小学校	841	823	798	761	737	724	730
北佐原小学校	116	109	100	87	75	76	70
東大戸小学校	165	167	150	160	146	144	151
竟成小学校	117	107	106	99	95	84	73
福田小学校	68	59	61	60	62	64	57
神南小学校	92	85	84	78	72	64	62
わらびが丘小学校							
香取小学校	82	79	91	98	89	97	106
瑞穂小学校	149	142	133	132	136	130	113
湖東小学校	47						
新島小学校	81	129	120	114	110	116	109
津宮小学校	71	71	65	66	60	54	57
大倉小学校	74	67	65	57	53	42	42
水の郷小学校							
小見川中央小学校	506	506	476	459	445	429	420
小見川南小学校	54	60	59	61	62	53	45
小見川東小学校	107	105	100	103	102	106	98
小見川西小学校	180	170	167	164	170	162	148
小見川北小学校	217	211	201	202	197	195	189
八都小学校	112	102	101	98	94		
八都第二小学校	56	51	52	54	51		
府馬小学校	112	105	96	96	96		
第一山倉小学校	74	73	80	78	72		
山倉小学校	50	53	53	52	55		
山田小学校						363	353
栗源小学校	171	165	164	155	159	155	164
合計	3,542	3,439	3,322	3,234	3,138	3,058	2,987

(2) 小学校 令和3年度推計

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
佐原小学校	841	835	814	788	772	765	756	710	694	673	658	626	577	552
北佐原小学校	116	113	105	87	73	78	75	63	62	66	66	68	65	65
東大戸小学校	165	162	142	142	125	123	122	119	111	101	97	90	87	82
竟成小学校	117	105	105	101	94	83	69	73	61	55	63	60	69	71
福田小学校	68	57	55	56	57	59								
神南小学校	92	82	79	75	70	61								
わらびが丘小学校							112	122	116	108	100	92	87	74
香取小学校	82	74	81	80	67	67	70	63	62	67	71	63	56	59
瑞穂小学校	149	141	132	128	129	126	113	113	106	104	92	95	98	92
湖東小学校	47													
新島小学校	81	131	128	122	117	123	112	103	98	99	99	82	82	79
津宮小学校	71	68	65	65	59	54	54	47						
大倉小学校	74	66	60	53	49	38	37	35						
水の郷小学校									79	79	74	72	74	76
小見川中央小学校	506	514	492	475	515	495	502	486	486	471	465	450	420	410
小見川南小学校	54	59	59	57										
小見川東小学校	107	99	98	109	111	108	91	85	79	65	62	56	65	63
小見川西小学校	180	172	169	171	175	168	160	159	148	139	121	119	115	103
小見川北小学校	217	216	206	208	195	188	173	150	146	134	132	117	112	118
八都小学校	112	103	93	88	84									
八都第二小学校	56	54	55	56	53									
府馬小学校	112	105	88	89	87									
第一山倉小学校	74	73	80	78	71									
山倉小学校	50	53	55	50	54									
山田小学校						343	340	324	321	299	273	262	245	225
栗源小学校	171	163	160	145	151	151	163	165	159	151	142	130	123	111
合計	3,542	3,445	3,321	3,223	3,108	3,030	2,949	2,817	2,728	2,611	2,515	2,382	2,275	2,180

※竟成小の上谷津地区は実情を考慮し、神南小に含めて計算されている。(現在においては、わらびが丘小が指定校となっている。)

※令和3年度までは各年度の4月1日の実績
※令和4年度以降は推計

3. 実施プラン第一次改定版策定時(平成26年度)の生徒数の推移と現在(令和3年度)の推移

(1) 中学校 平成26年度推計 (単位:人)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
佐原中学校	540	542	663	632	570	530	491	507	523	506	455	416	429
香取中学校	140	135	141	129	123	124	115	109	106	114	100	91	91
佐原第三中学校	82	94											
佐原第五中学校	203	198	214	220	218	192	190	179	173	173	171	159	137
新島中学校	72	69	70	78	87	69	66	58	62	61	59	64	59
小見川中学校	585	591	588	578	544	517	493	512	491	499	467	457	401
山田中学校	267	270	243	213	206	194	201	187	196	184	185	168	169
栗源中学校	96	94	90	96	95	94	79	73	74	78	89	85	86
合計	1,985	1,993	2,009	1,946	1,843	1,720	1,635	1,625	1,625	1,615	1,526	1,440	1,372

(2) 中学校 令和3年度推計

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
佐原中学校	540	542	664	644	603	569	541	550	527	502	440	423	420	432	425	407	378	358	331	326
香取中学校	140	128	121	106	96	100	89	82	92	106	108	98	100	93	89	82	79	64	55	56
佐原第三中学校	82	77																		
佐原第五中学校	203	197	205	204	202	173	161	145	152	159	167	155	133	127	115	118	110	113	115	112
新島中学校	72	65	62	69	73	57	53	50	57	58	57	62	55	50	46	55	59	45	35	30
小見川中学校	585	591	587	573	544	530	505	514	491	507	487	471	422	394	389	390	388	354	322	306
山田中学校	267	271	237	207	197	191	197	184	187	176	181	168	169	154	160	137	126	109	111	99
栗源中学校	96	91	86	83	85	81	66	62	64	71	86	84	87	74	68	59	63	57	62	48
合計	2,411	1,962	2,256	1,886	1,800	1,701	1,612	1,587	1,570	1,579	1,526	1,461	1,386	1,324	1,292	1,248	1,203	1,100	1,031	977

※令和3年度までは各年度の4月1日の実績
※令和4年度以降は推計

4. 令和3年度 小学校児童数・学級数と将来推計

	令和3年度							令和4年度							令和5年度							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
佐原小	児童数	110	121	126	105	125	123	710	107	110	121	126	105	125	694	104	107	110	121	126	105	673
	学級数	4	4	4	3	4	4	23	4	4	4	4	3	4	23	3	4	4	4	4	3	22
北佐原小	児童数	10	13	11	9	7	13	63	12	10	13	11	9	7	62	11	12	10	13	11	9	66
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	0.5	0.5	5	1	1	1	1	1	1	6
東大戸小	児童数	18	15	19	21	25	21	119	13	18	15	19	21	25	111	15	13	18	15	19	21	101
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
竟成小	児童数	13	5	15	5	15	20	73	8	13	5	15	5	15	61	9	8	13	5	15	5	55
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
わらびが丘小	児童数	24	18	16	20	19	25	122	19	24	18	16	20	19	116	11	19	24	18	16	20	108
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
香取小	児童数	8	12	12	7	10	14	63	13	8	12	12	7	10	62	15	13	8	12	12	7	67
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
水の郷小	児童数								17	7	14	13	13	15	79	15	17	7	14	13	13	79
	学級数								1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
津宮小	児童数	3	7	8	10	9	10	47	令和4年度「水の郷小学校」として統合													
	学級数	1	1	1	1	1	1	6														
大倉小	児童数	4	7	5	3	6	10	35	令和4年度「水の郷小学校」として統合													
	学級数	1	1	0.5	0.5	1	1	5														
瑞穂小	児童数	18	15	15	23	19	23	113	16	18	15	15	23	19	106	17	16	18	15	15	23	104
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
新島小	児童数	12	11	23	16	17	24	103	19	12	11	23	16	17	98	18	19	12	11	23	16	99
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
小見川中央小	児童数	73	86	80	76	85	86	486	86	73	86	80	76	85	486	70	86	73	86	80	76	471
	学級数	3	3	3	2	3	3	17	3	3	3	3	2	3	17	2	3	3	3	3	2	16
小見川東小	児童数	12	0	17	17	21	18	85	12	12	0	17	17	21	79	7	12	12	0	17	17	65
	学級数	1	0	1	1	1	1	5	1	1	0	1	1	1	5	1	1	1	0	1	1	5
小見川西小	児童数	25	20	18	36	32	28	159	17	25	20	18	36	32	148	23	17	25	20	18	36	139
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
小見川北小	児童数	15	20	26	23	40	26	150	22	15	20	26	23	40	146	28	22	15	20	26	23	134
	学級数	1	1	1	1	2	1	7	1	1	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	1	6
山田小	児童数	49	52	46	67	55	55	324	52	49	52	46	67	55	321	33	52	49	52	46	67	299
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	1	2	2	2	2	2	11
栗源小	児童数	26	27	26	37	23	26	165	20	26	27	26	37	23	159	15	20	26	27	26	37	151
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
計	児童数	420	429	463	475	508	522	2817	433	420	429	463	475	508	2728	391	433	420	429	463	475	2611
	学級数	22	21	21.5	19.5	23	22	129	21	21	20	21	18.5	21.5	123	18	21	21	20	21	19	120

1 は、学級編制基準では複式学級となるが、運用で単式学級としている。(増置教員、講師により解消)

0.5 は、複式学級の対象学級(2学年で1学級)

- ※ 令和3年度児童数は実績値(令和3年4月1日現在)。
- ※ 令和4年度以降は、住民基本台帳人口(令和3年4月1日現在)を参考に推計。
- ※ 学級編成の標準の引下げに係る計画によりR5小4、R6小5、R7小6を35人学級に編成。
- ※ 複式学級とは2つ以上の学年の合計児童数が16人以下(1年生を含む場合は8人以下)になると、1学級に編成し、先生が1人で2学年の授業を行う。
- ※ 学級数は、特別支援学級数を含まない。

5. 令和3年度 中学校生徒数・学級数と将来推計

	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度				
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
佐原中	生徒数	193	172	185	550	162	193	172	527	147	162	193	502	131	147	162	440	145	131	147	423	144	145	131	420
	学級数	6	5	5	16	5	6	5	16	5	5	6	16	4	4	5	13	5	4	4	13	5	4	4	13
香取中	生徒数	27	21	34	82	44	27	21	92	35	44	27	106	29	35	44	108	34	29	35	98	37	34	29	100
	学級数	1	1	1	3	2	1	1	4	1	2	1	4	1	1	2	4	1	1	1	3	2	1	1	4
佐原第五中	生徒数	44	50	51	145	58	44	50	152	57	58	44	159	52	57	58	167	46	52	57	155	35	46	52	133
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	1	2	2	5
新島中	生徒数	18	18	14	50	21	18	18	57	19	21	18	58	17	19	21	57	26	17	19	62	12	26	17	55
	学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
小見川中	生徒数	173	160	181	514	158	173	160	491	176	158	173	507	153	176	158	487	142	153	176	471	127	142	153	422
	学級数	5	5	5	15	5	5	5	15	6	5	5	16	5	5	5	15	5	5	5	15	4	4	5	13
山田中	生徒数	62	66	56	184	59	62	66	187	55	59	62	176	67	55	59	181	46	67	55	168	56	46	67	169
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6
栗源中	生徒数	22	14	26	62	28	22	14	64	21	28	22	71	37	21	28	86	26	37	21	84	24	26	37	87
	学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	2	1	1	4	1	1	1	3	1	1	1	3
計	生徒数	539	501	547	1587	530	539	501	1570	510	530	539	1579	486	510	530	1526	465	486	510	1461	435	465	486	1386
	学級数	18	17	17	52	18	18	17	53	18	18	18	54	17	16	18	51	17	16	16	49	16	15	16	47

- ※ 令和3年度児童数は実績値(令和3年4月1日現在)。
- ※ 令和4年度以降は住民基本台帳人口(令和3年4月1日現在)を基に推計。
- ※ 学級数は特別支援学級数を含まない。

令和6年度								令和7年度								令和8年度								令和9年度							
1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
90	104	107	110	121	126	658		94	90	104	107	110	121	626		72	94	90	104	107	110	577		85	72	94	90	104	107	552	
3	3	4	4	4	4	22		3	3	3	4	4	4	21		3	3	3	3	4	4	20		3	3	3	3	3	3	4	19
9	11	12	10	13	11	66		13	9	11	12	10	13	68		10	13	9	11	12	10	65		10	10	13	9	11	12	65	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
17	15	13	18	15	19	97		12	17	15	13	18	15	90		12	12	17	15	13	18	87		13	12	12	17	15	13	82	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
13	9	8	13	5	15	63		12	13	9	8	13	5	60		14	12	13	9	8	13	69		15	14	12	13	9	8	71	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
12	11	19	24	18	16	100		8	12	11	19	24	18	92		13	8	12	11	19	24	87		11	13	8	12	11	19	74	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
11	15	13	8	12	12	71		4	11	15	13	8	12	63		5	4	11	15	13	8	56		11	5	4	11	15	13	59	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	0.5	0.5	1	1	1	5		1	0.5	0.5	1	1	1	5	
8	15	17	7	14	13	74		11	8	15	17	7	14	72		16	11	8	15	17	7	74		9	16	11	8	15	17	76	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
令和4年度「水の郷小学校」として統合																															
11	17	16	18	15	15	92		18	11	17	16	18	15	95		18	18	11	17	16	18	98		12	18	18	11	17	16	92	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
16	18	19	12	11	23	99		6	16	18	19	12	11	82		11	6	16	18	19	12	82		9	11	6	16	18	19	79	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
70	70	86	73	86	80	465		65	70	70	86	73	86	450		56	65	70	70	86	73	420		63	56	65	70	70	86	410	
2	2	3	3	3	3	16		2	2	2	3	3	3	15		2	2	2	2	3	3	14		2	2	2	2	2	3	13	
14	7	12	12	0	17	62		11	14	7	12	12	0	56		9	11	14	7	12	12	65		10	9	11	14	7	12	63	
1	1	1	1	0	1	5		1	1	1	1	1	0	5		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
18	23	17	25	20	18	121		16	18	23	17	25	20	119		16	16	18	23	17	25	115		13	16	16	18	23	17	103	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
21	28	22	15	20	26	132		11	21	28	22	15	20	117		15	11	21	28	22	15	112		21	15	11	21	28	22	118	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
41	33	52	49	52	46	273		35	41	33	52	49	52	262		35	35	41	33	52	49	245		29	35	35	41	33	52	225	
2	1	2	2	2	2	11		1	2	1	2	2	2	10		1	1	2	1	2	2	9		1	1	1	1	2	1	2	8
28	15	20	26	27	26	142		14	28	15	20	26	27	130		20	14	28	15	20	26	123		14	20	14	28	15	20	111	
1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6		1	1	1	1	1	1	6	
379	391	433	420	429	463	2515		330	379	391	433	420	429	2382		322	330	379	391	433	420	2275		325	322	330	379	391	433	2180	
19	18	21	21	20	21	120		18	19	18	21	21	20	117		18	17.5	18.5	18	21	21	114		18	17.5	17.5	19	18	21	111	

令和9年度				令和10年度				令和11年度				令和12年度				令和13年度				令和14年度				令和15年度			
1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
143	144	145	432	138	143	144	425	126	138	143	407	114	126	138	378	118	114	126	358	99	118	114	331	109	99	118	326
5	4	4	13	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	4	3	4	11	3	4	3	10	4	3	4	11
22	37	34	93	30	22	37	89	30	30	22	82	19	30	30	79	15	19	30	64	21	15	19	55	20	21	15	56
1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
46	35	46	127	34	46	35	115	38	34	46	118	38	38	34	110	37	38	38	113	40	37	38	115	35	40	37	112
2	1	2	5	1	2	1	4	2	1	2	5	2	1	1	4	2	1	1	4	2	1	1	4	1	2	1	4
12	12	26	50	22	12	12	46	21	22	12	55	16	21	22	59	8	16	21	45	11	8	16	35	11	11	8	30
1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
125	127	142	394	137	125	127	389	128	137	125	390	123	128	137	388	103	123	128	354	96	103	123	322	107	96	103	306
4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	3	4	4	11	3	3	4	10	4	3	3	10
52	56	46	154	52	52	56	160	33	52	52	137	41	33	52	126	35	41	33	109	35	35	41	111	29	35	35	99
2	2	2	6	2	2	2	6	1	2	2	5	2	1	2	5	1	2	1	4	1	1	2	4	1	1	1	3
24	24	26	74	20	24	24	68	15	20	24	59	28	15	20	63	14	28	15	57	20	14	28	62	14	20	14	48
1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
424	435	465	1324	433	424	435	1292	391	433	424	1248	379	391	433	1203	330	379	391	1100	322	330	379	1031	325	322	330	977
16	14	15	45	14	15	14	43	14	14	15	43	15	13	14	42	13	13	13	39	12	12	13	37	13	12	12	37

6. 小中学校児童・生徒数推移(各年4月1日時点)

小学校	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3		
佐原小学校	1,036	979	949	962	959	939	899	888	841	835	814	788	772	765	756	710		
北佐原小学校	131	125	127	135	143	138	135	126	116	113	105	87	73	78	75	63		
東大戸小学校	205	210	199	185	190	177	175	170	165	162	142	142	125	123	122	119		
竟成小学校	132	132	132	118	120	125	118	125	117	105	105	101	94	83	69	73		
福田小学校	92	80	78	84	82	82	74	68	68	57	55	56	57	59	112	122		
わらびが丘小学校																		
神南小学校	87	85	84	80	86	84	92	97	92	82	79	75	70	61				
香取小学校	171	146	136	139	110	107	97	94	82	74	81	80	67	67	70	63		
瑞穂小学校	194	192	167	160	167	157	150	141	149	141	132	128	129	126	113	113		
湖東小学校	44	48	51	48	59	59	60	54	47	72	81	131	128	122	117	123	112	103
新島小学校	103	100	93	88	82	77	72											
大東分校	12	8	8	8	10	8	10											
津宮小学校	110	110	100	93	87	77	81	81	71	68	65	65	59	54	54	47		
大倉小学校	88	82	84	78	80	81	73	83	74	66	60	53	49	38	37	35		
小見川中央小学校	552	548	557	554	554	546	539	536	506	514	492	475	515	495	502	486		
小見川南小学校	55	57	49	50	45	51	48	49	54	59	59	57						
小見川東小学校	169	150	150	147	133	126	121	118	107	99	98	109	111	108	91	85		
小見川西小学校	272	277	261	250	240	223	213	189	180	172	169	171	175	168	160	159		
小見川北小学校	266	253	236	247	232	220	211	197	217	216	206	208	195	188	173	150		
利北分校	11	10	7	9	11	13	15	13										
八都小学校	147	137	135	134	128	128	120	119	112	103	93	88	84	343	340	324		
八都第二小学校	57	70	70	72	69	62	69	59	56	54	55	56	53					
府馬小学校	199	195	185	182	172	152	139	120	112	105	88	89	87					
第一山倉小学校	93	92	98	89	91	89	83	71	74	73	80	78	71					
山倉小学校	78	66	64	56	60	56	59	59	50	53	55	50	54					
栗源小学校	141	144	138	214	210	205	190	184	171	163	160	145	151	151	163	165		
沢小学校	56	52	46															
高萩小学校	62	60	61															
小学校 計	4,563	4,408	4,265	4,182	4,120	3,982	3,843	3,713	3,542	3,445	3,321	3,223	3,108	3,030	2,949	2,817		

中学校	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
佐原中学校	597	612	612	589	547	516	531	522	540	542	664	644	603	569	541	550
佐原第三中学校	139	127	120	116	108	94	85	80	82	77						
香取中学校	187	194	204	190	187	170	169	141	140	128	121	106	96	100	89	82
佐原第五中学校	323	290	282	269	256	242	214	225	203	197	205	204	202	173	161	145
新島中学校	114	109	98	98	76	77	69	85	72	65	62	69	73	57	53	50
小見川中学校	647	645	672	659	664	643	629	599	585	591	587	573	544	530	505	514
山田中学校	278	302	283	297	285	282	256	263	267	271	237	207	197	191	197	184
栗源中学校	169	152	140	138	133	134	115	108	96	91	86	83	85	81	66	62
中学校 計	2,454	2,431	2,411	2,356	2,256	2,158	2,068	2,023	1,985	1,962	1,962	1,886	1,800	1,701	1,612	1,587

合計	7,017	6,839	6,676	6,538	6,376	6,140	5,911	5,736	5,527	5,407	5,283	5,109	4,908	4,731	4,561	4,404
-----------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

○学校施設の状況

番号	学校名	校地面積 (㎡)	うち、 運動場 (㎡)	保有面積		普通 教室 数	特別教室数												
				屋 内 運 動 場	特 別 普 通 教 室 等 ・		支 援 教 室	う ち、 特 別 支	理 科	生 活	音 楽	図 画 工 作	家 庭	外 国 語	視 聴 覚	コ ン ピ ユ ー タ	図 書 室	特 別 活 動	教 育 相 談
1	佐原小	26,178	10,855	2,226	7,517	27	4	2	2	1	1	1		1	1	19	1		
2	北佐原小	13,182	9,010	610	2,293	8	2	1	1		1			1	1	1			
3	東大戸小	12,725	6,647	684	2,410	8	2	1	1	1	1	1		1	1	2			
4	竟成小	16,853	10,091	691	2,754	8	2	1	1	1	1			1	1	3			
5	わらびが丘小	26,453	19,627	767	2,710	8	2	1	1		1			1	1	1			
6	香取小	16,805	7,600	636	2,604	8	2	1	1	1	1			1	1	2			
7	瑞穂小	10,842	7,165	582	2,915	8	2	1	1	1	1			1	1	5	1		
8	新島小	14,933	8,326	575	2,317	8	2	1	1	1	1			1	1	2			
9	津宮小	12,696	6,480	564	2,223	7	1	1	1		1			1	1	1	1		
10	大倉小	11,360	5,902	603	1,649	7	1	1	1	1	1				1	1			
11	小見川中央小	20,669	8,291	936	6,978	19	2	2	2	1	2			1	2	12	1		
12	小見川東小	27,029	13,837	859	3,482	8	2	1	1	1	1		1	1	1	4	1		
13	小見川西小	19,332	9,741	820	3,600	8	2	1	1	1	1			1	1	7			
14	小見川北小	25,888	8,946	919	3,798	9	2	1	1	1	1	1		1	1	4	1		
15	山田小	33,793	12,658	883	4,968	15	3	1	1	1	1			1	1	5	2		
16	栗源小	19,268	14,058	755	3,210	8	2	1	1	1	1			1	1	2	1		

番号	学校名	校地面積 (㎡)	うち、 運動場 (㎡)	保有面積		普通 教室 数	特別教室数													
				屋 内 運 動 場	教 室 ・ 普 通 特 別		支 援 教 室	う ち、 特 別	理 科	音 楽	美 術	技 術	家 庭	外 国 語	視 聴 覚	コ ン ピ ユ ー タ	図 書 室	特 別 活 動	教 育 相 談	進 路 資 料 ・ 指 導
1	佐原中	29,585	20,908	2,291	8,644	19	2	4	2	1	1	2			1	1	6	2		
2	香取中	21,294	10,946	1,198	3,711	5	2	2	1	1	1	1			1	1	5	2		
3	佐原第五中	28,306	13,691	1,221	5,300	8	2	2	1	1	1	1		1	1	5	1	2		
4	新島中	31,373	26,528	747	3,003	5	2	1	1	1	1	1			1	1	1	1		
5	小見川中	68,219	31,026	2,616	8,197	17	2	3	1	2	2	2			1	1	7	1		
6	山田中	56,328	14,979	1,501	5,777	8	2	2	1	1	2	2			1	1	4	1	1	
7	栗源中	31,459	8,249	2,055	3,236	5	2	1	1	1	1	2			1	1	5	2		

※令和3年度公立学校施設台帳より